

お客様各位

平成31年1月10日

## 製品内・製品間の色相差について

株式会社 森清化工  
技術部 山田 徹  
TEL 03-3618-5555  
FAX 03-3618-5566

平素より森清化工のOリングを御愛顧頂きまして、厚く御礼申し上げます。

Oリングの製造工程は、ゴム生地を金型上で流動させ、キャビティーに充填させて成形します。そのため製造工程上、どうしても場所により流動状態に差が発生します。通常、ほとんど目立たない差ですが、まれに色相差として目立つ場合があります。(写真1. 写真2. 参照)

これは、ゴムが流動する事で、カーボンブラックや老化防止剤といった配合薬品の分散状態にミクロ的な変化が生じ、光の散乱に影響を与えるためです。特にカーボンブラックのグレードや老化防止剤のブルームの多寡によって艶感が大きく異なって見えます。

人の目は非常に敏感であり、極僅かな色相の差も見えてしまいます。可視光の領域はだいたい350~700nm(10-6mm)であり、1/1000,000mmという小さな変化でも、色相の差として現れます。ただしミクロ的な差異であり、マクロ的には問題ありません。

色相差は、光の散乱が眼に映った結果であり、特性にはなんら差は御座いませんので、安心してお使いになられます様、お願い申し上げます。

以上

写真1. 融合部分の色相差

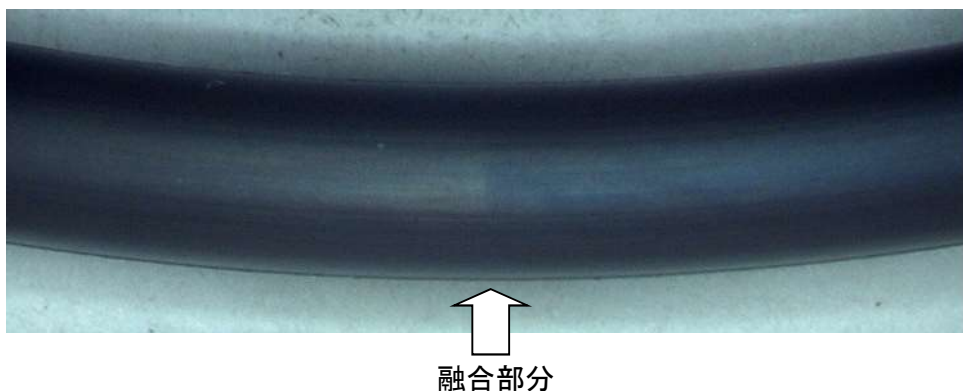


写真2. 製品間の色相差

